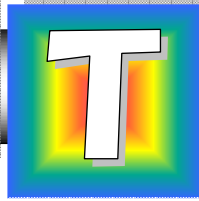
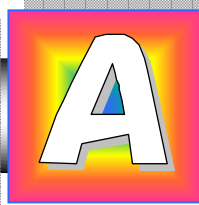


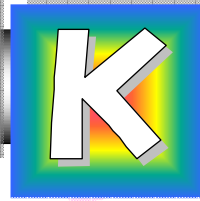
退院後も



つながります



あなたの



ところとからだ

8月15日号
地域医療連携室発行

毎日暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？外を眺めているだけで焼け焦げてしまいそうな猛暑です。新病棟・中央検査棟は、見上げるようにどんどん建ち上がっており着々と進行しています。新病院の完成に併せて、各科の体制や機器も一層されていきます。まずは、放射線科の業務についてお伺いしました。



新病院に向けて放射線科の取り組み



Q：放射線科の紹介をお願いします。たくさん自慢をしてください。

A：自慢という程ではありませんが、新病院になると各種撮影装置の多くが新しくなります。

まず、MRI 装置が当院にも導入されます。

また、CT 装置もマルチスライスタイプ（16 列）に、一般 X 線撮影装置も CR タイプに、また X 線 TV 装置・泌尿器系 X 線 TV 装置も更新されます。



Q：今年 12 月には第 2 期工事が終わり、放射線科部門は完成となりますが、どのような取り組みをしていますか？心がけている事、新病院になるとどんな変化があるか教えてください。

と思いますが、どのような取り組みをしていますか？心がけている事、新病院になるとどんな変化があるか教えてください。

A：一番の変化？は、放射線科の場所が 2 階から 1 階になることでしょうか。

現状では、放射線科は 2 階にあります。ずっと以前は、検査科・小児科等も 2 階だったのですが…。

その為、撮影が必要な患者様は、1 階の外来診療科から 2 階まで階段やエレベーターを利用して頂かなければなりませんでしたが、新病院では同じフロアですべての撮影を行うことが出来ます。

また先程も言いましたように、現病院には無い撮影装置も導入されますので、それらを駆使してより患者様にあった医療が提供できるよう、すでにスタッフ一同知識と技術の習得を始めています。

ひとつ残念なことは、これまで放射線科の窓から季節の移り変わりを楽しむ？事が出来ていましたが、新病院では外の風景を見る窓がありません。ペーロン・パレードでは、院内随一の見物スポットだったのに残念です。(笑)

Q：新病院になると MRI の検査が出来るようになるという聞きましたが、MRI ではどんな事がわかるのですか？

A：一見すると CT と同じような画像ですが、MRI はより多くのコントラスト（種類）の画像を得る事が出来ます。



CT では、造影剤を用いても 3 種類程度のコントラストの画像しか得られませんが、MRI では 10 種類以上のコントラストの画像を得る事が出来ます。つまり、物質の成分（病変）の違いを、より細かく区別し画像を得る事が出来ます。

勿論、胸部（肺）・骨（3D）等 CT の方が有用な場合も数多くあります。

なお、今回当院に導入される MRI は、超伝導 1.5 テスラ装置です。

Q：CT と MRI の違いは何ですか？

A：一言で言うと、撮影原理が全く違います。

CT は、X 線を利用し、生体内物質の X 線透過性の差により画像を作成しています。

MRI は、X 線ではなく磁力（磁石）と電磁波を利用して画像を作成していますので、放射線被ばくはありません。また CT と違い再構成を利用することなく、最初から任意の撮影断面を得ることが出来ます。

しかし、MRI の検査を安全に安心して受けてもらうために、CT など今までの X 線画像撮影装置にはない注意事項があります。

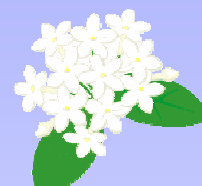
各種磁性体製（磁石にくっつく物）の医療機器・普通の点滴台やストレッチャー・車椅子等や身に付けているヘアピン等が、MRI 装置の磁石に吸い寄せられてしまいます。

装置の近くでは、重い酸素ボンベが MRI 装置に引き寄せられることもあります。

また、マスカラ等金属粉を含む化粧品・刺青をされている方も、撮影が出来ないことになっています。

磁気カード・ペースメーカー・補聴器は、破損しデータが消えたり誤作動を起こしたりします。

CT・MRI 共に、お互い特性（長所・短所）を考えて検査を選択する必要があります。



Q：痛みはありますか？

A：CT も同じですが、MRI も撮影そのものに関する痛みはありません。

検査の内容により、注射（点滴）を行うものがありますので、その際に多少の痛みを伴うことがあります。

ただ、MRI の大きな特徴（欠点）は、撮影に際して大きな音（騒音）が発生することです。

検査の内容によっては、ヘッドホンや耳栓が必要になる場合もあります。

また、トンネル状の部分が CT より長く、閉所恐怖症など狭い所が苦手な患者様の場合、検査が出来ない事があります。

その他、妊娠されている方やその可能性のある方は、主治医等と相談して下さい。



Q：検査にかかる時間はどのくらいですか？

A：検査部位・撮影内容により一定ではありません。

一般的には、CT 検査に比べると多くの時間を必要とします。（30分～60分位）

その為、多くの施設でも検査予約待ち日数も長くなっています。

また、金属（磁性体）やペースメーカー・補聴器・カラーコンタクトレンズ・カイロ等を身に付けて検査室に入室できませんので、安全・安心して MRI 検査を受けてもらう為に問診等による検査前確認にも CT 等比べて多くに時間を必要としますがよろしくお願ひします。



放射線科の皆さん、ご協力ありがとうございました。

MRI の撮影が多くなれば、今以上に忙しくなりますね。

皆さん頑張ってください！



放射線科をご紹介しました。いかがでしたか？

院内全員の意識は、新病院に向かって最高潮になってきています。

さて、次回の T・TAK 新聞は…『有資格者に聞く』です。

この様子は『播磨病院ホームページ』より公開しています。

どしどし、アクセスしてみてくださいね。

T・TAK 新聞のバックナンバーは、播磨病院ホームページ

<http://www.harima-hp.jp/main.htm> からご覧いただけます。

By : SK